

発表事項

- 1 令和元事業年度事業状況及び決算
 - (1) 一般会計
 - (2) 前期高齢者特別会計等
- 2 令和2事業年度一般会計収入支出予算変更
- 3 法改正に伴う支払基金定款の一部変更及び社会保障・税番号制度会計収入支出予算変更
- 4 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う報告事項
 - (1) 政府の緊急事態宣言による基金業務への影響
 - (2) 令和2年5月診療分の診療報酬等概算前払の実施状況
- 5 介護納付金の算定に係る新たな業務手順の作成
- 6 令和元年度の診療報酬等確定状況（平成31年4月～令和2年3月診療分）
- 7 令和元年度の審査状況（令和元年5月～令和2年4月審査分）
- 8 令和2年4月審査分の審査状況
- 9 令和元年度の特別審査委員会の取扱状況（令和元年5月～令和2年4月審査分）
- 10 令和2年6月審査分の特別審査委員会取扱状況

1 1 本部監事監査結果報告

- 1 2 令和2年度第2期（5月）分の後期高齢者支援金等収納状況

本部監事監査結果報告

監査実施日

令和2年6月15日（月）・18日（木）

令和元事業年度決算監査

- 一般会計ほか各会計の事業状況報告書は法令及び定款に従い、社会保険診療報酬支払基金の状況を正しく示しているものと認められる。
- 各会計における財産目録、財務諸表及び附属明細書は、規程等に従い適正に処理されていると認められる。
- 会計監査法人である有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認められる。

本部監事監査結果報告

業務に関する監査

- 各部室及び各プロジェクトチーム等において、支払基金改革の16項目を含めた課題設定を行い、工程管理をしながら、着実に取り組んでいるものと認められる。
- 令和2年度は、令和4年10月の審査事務集約化に向けた計画をやり遂げるには、極めて重要な年である。制度改革や業務の高度化・効率化を進めるに当たっては、業務をシンプルにしていくことがリスクの軽減につながることを認識し、業務の標準化及び集約化並びにICTの活用を更に進めてもらいたい。
- リスク管理体制や事故・誤処理の再発防止体制の構築など内部統制システムの整備が進んでいるが、業務執行及びリスク管理において、これらの取組が実効性のあるものになるよう組織を挙げて取り組んでももらいたい。